

2014 年度 (公財) 日本セーリング連盟 オリンピック強化委員会
ナショナルチーム選考レース
兼 2013 年 RS : X 級全日本選手権大会

公示

主 催 : (公財) 日本セーリング連盟 オリンピック強化委員会

期 日 : 2013 年 12 月 10 日 (火) ~16 日 (月)

開催地 : ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点 (和歌山セーリングセンター)

レース公示

1 規則

本レガッタは『セーリング競技規則』に定義された規則を適用する。

2 広告

艇は、主催団体により選択され支給された広告を表示するよう要求されることがある。

3 参加資格および申込み

3.1 本レガッタは、以下のオリンピッククラスの艇が参加できる。

470 級 男子・女子

RS:X 級 男子・女子

レーザー級 男子・レーザーラジアル級 女子

3.2 2013 年度ナショナルチーム選手又は各クラス協会より推薦を受けた選手

3.3 本レガッタ参加の競技者はレース当日有効な、(公財) 日本セーリング連盟及びクラス別協会の会員でなければならない。

3.4 参加資格のある艇は、添付の参加申込書兼クラス協会推薦書に必要事項を記載し、2013 年 11 月 25 日 (月) までに、下記の大会事務局に送付することにより、参加申込をすることができる。

641-0014 和歌山市毛見 1514 番地 和歌山セーリングセンター

2014 年度ナショナルチーム選考レース実行委員会

電話 073-448-0251 ファックス 073-494-3252

E-mail info@wakayama-sailing.org

4 参加料

4.1 必要な参加料は次のとおりとする。

クラス	参加料
470 級	40,000 円
RS:X、レーザー、レーザーラジアル級	20,000 円

4.2 その他の料金

参加の選手は、400 円／日のハーバー使用料をレース受付時に支払わなければならない（2013 年度ナショナルチーム選手は免除される）

5 レースの方式

5.1 470 級については通常コースとショートコースの、異なるターゲットタイムのレース形式により構成される。その他のクラスについては、通常コースのみで構成される。

5.2 470 級女子のエントリー数が 6 艇未満の場合、470 級男子と同時にスタートし、男子・女子それぞれのクラスとして得点する。

6 ターゲットタイム

各クラスとコースと、そのターゲットタイムは以下の通りである

クラス	コース	ターゲットタイム
470 級	I、O	45 分
	L	25 分
RS:X 級	I, O, L, L S	25 分
レーザー／ラジアル級	I, O, L	60 分

7 日程

7.1 大会の日程

12 月 10 日（火）	9:00～17:00	大会受付・計測
	17:00～	開会式・艇長会議
12 月 15 日（日）	18:00～	成績発表・閉会式

7.2 レース日程

12月11日(水)	レース
12月12日(木)	レース
12月13日(金)	レース
12月14日(土)	レース
12月15日(日)	レース
12月16日(月)	予備日

12月15日(日)までに7レース以上が完了しない場合、12月16日の予備日を使用してレースを行い、成績発表・閉会式も繰り下げられる。

7.3 レース数

クラス	レース数	1日あたりの最大レース数
470級	14レース	4レース
その他のクラス	12レース	3レース

7.4 レース日における最初のクラスのレースの予告信号の予定時刻は10:30である。

7.5 RS:Xクラスにおいて、パンピングコンディション以下の風速では、海上で2レース以上のレースを連続して行わない。

7.6 レース日の毎朝9:10から、和歌山セーリングセンタークラブハウス前にて、レース委員会・プロテスト委員会・選手・コーチによるブリーフィングを行う。

7.7 レース最終日は16:00以降に予告信号が発せられることはない。

8 計測

8.1 各艇は、クラス規則で求められる有効な計測証明書を大会受付時に提示しなければならない。

8.2 各艇は12月10日(火)の9:00~17:00までの間に、ハル(ボード)スパー、フォイル、セイルの計測が行われる。又、470級については、重量及びスパーの計測が行われる。

9 帆走指示書

帆走指示書は12月1日以降に(公財)日本セーリング連盟 オリンピック強化委員会のウェブサイトからダウンロードできる。また、大会受付時に配布する。

- 10 開催地
添付 1 は、レガッタ・ハーバー及びレースエリアの場所を示す。
- 11 コース
添付 2 の見取り図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。
- 12 ペナルティー方式
RS:X 級を除き付則 P が適用される。
- 13 得点
- 13.1 得点方式は次の通りとする。
- 13.2 シリーズの成立には 7 レースを完了することが必要である。
- 13.3 (a) 5 レースから 10 レースまで完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
(b) 11 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い方から 2 つの得点を除外したレース得点の合計とする。
- 13.4 フィニッシュ順位第 1 位の艇の得点を 0 点として記録する。
- 14 サポートボート
- 14.1 各チームのサポートボートは大会受付時に使用する艇の登録を行い、主催者の用意する識別旗を、海上にいる間掲揚しなければならない。
- 14.2 主催者は各艇種にオフィシャルサポートボートを準備する。競技者は衣類・飲食物・レース委員会により定められた予備備品を預ける事が出来る。
- 15 バース
艇は和歌山セーリングセンターにある間、指定された場所に保管しなければならない。

16 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は、無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用される。

17 賞

17.1 賞は次のように与える。

17.2 2014年度（公財）日本セーリング連盟オリンピック強化委員会の定めるナショナルチーム数は別途定める 2014年度ナショナルチーム数規定による。

17.3 2014年度に（公財）日本セーリング連盟オリンピック強化委員会の派遣する国際大会の参加資格、補助等の優勢順位もこの大会の成績の上位からの順とする。但し、別途クラス別協会による公示が行われる大会を除く。

18 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4 [レースすることの決定] 参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

19 保険

各参加艇は、有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

18 チャーターボート

大会の主催者は以下のチャーターボートを準備する。

470級（ハル、リグ、フォイル）9,000円／日（大学生以下 5,000円／日）

レーザー級（ハル、フォイル）5,000円／日（大学生以下 3,000円／日）

① 2013年度ナショナルチーム選手の利用料金を1／2とする。

② 5日以上の利用の場合、6日目以降は1／2とし、11日目以降は1／4とする。

③ チャーターボートの希望者が艇数を上回る場合、強化指定選手、強化候補選手の順に貸し出される。

問い合わせ先

●大会に関する問い合わせ

(公財)日本セーリング連盟 オリンピック強化委員会

mom_2016_kyouka@jsaf.or.jp

●ハーバー、チャーターボートに関する問い合わせ

ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点（和歌山セーリングセンター）

info@wakayama.sailing.org

